



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	災害ボランティア学				
2. 教員名	船木 伸江		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	3年生以上	5. 開講時期	前期集中	6. 単位数	2単位

<b>7. 授業のねらい及び具体的な達成目標</b>					
<p>阪神・淡路大震災以降、自助・共助の力が災害時には大きな力となることが認識されてきた。災害はいつ起こるかわからない。未知の災害被害後にボランティアとしてどのような対応をするか。</p> <p>災害ボランティアは気持ちさえあれば誰でも携わることができる。しかし、誰でも関わることができるがゆえに問題も発生する。被災地はどのような状況なのか、被災者にどう声をかけるか、ボランティアをする中でどんな問題に直面するか。</p> <p>授業では体験（1泊2日程度の被災地ボランティアを予定）もしくはワークショップによる実習を加えながら、ボランティアの実践力を育成することを目指す。</p>					
<b>8. テキスト、参考書、指定図書</b>					
授業のときに案内します					
<b>9. 事前、事後に受講してほしい講義等</b>					
【事前受講してほしい講義等】					
【事前受講してほしい講義等】					
<b>10. 提出課題など</b>					
レポート					
<b>11. 評価基準</b>					
出席・受講態度・グループワークへの参加貢献など 70%、レポート・課題 30%					
<b>12. 学生へのメッセージ、受講生への要望</b>					
<b>13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）</b>					

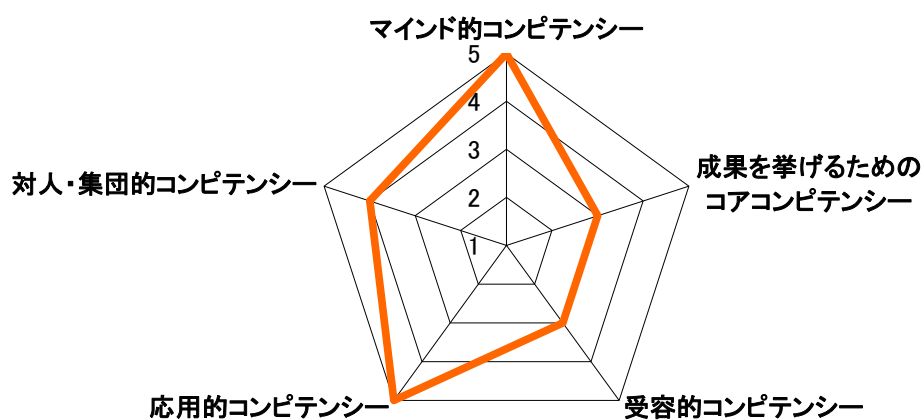
## 【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	授業ガイダンス	
第2回	阪神・淡路大震災とボランティア	
第3回	様々な災害ボランティアの形	
第4回	災害時の心のケア	

第5回	ボランティアコーディネートについて	
第6回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第7回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第8回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第9回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第10回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第11回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第12回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第13回	被災地でのボランティア活動もしくはワークショップ実習	
第14回	振り返り	
第15回	まとめ	

### 【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント